

## f ファーム

はじめまして、富士宮で野菜を作っている伏見と申します。

特にこれと言ったこだわりは無いのですが、畑を始めた当初から常に意識している事は、野菜を育てるのではなく、微生物を育てると言うことです。

土つくりには、排水性通気性や水持ち・肥持ちを良くする事や、酸度（PH値）の矯正など人が出来ることも有りますが土の中を人が制御するのは難しい。そこで有用な微生物を増やすことで、土の中を豊かにしてもらおうと考えたわけです。

微生物が豊富に住む土壌にすることで、病気や害虫に負けない野菜、栄養豊富でおいしい野菜を作りたいと思っています。

良い野菜が出来たり、出来なかったりとまだまだですが、微生物のごはん、ごはんと思えば菌床や畑の雑草をせっせと鋤き込んでいます。

(2015年2月 記)



### f ファーム 伏見 強

就農:平成21年7月 畑の場所:富士宮市 青木

栽培面積:畑35a 栽培作物数:20種類

主力作物:サニーレタス、ズッキーニ、おくら、ピーマンなど

連絡先:tf0127@uv.tnc.ne.jp

### 「農業で食べていくには」

今から有機農業で独立営農を始めようと思っている方の一番の不安は『果たして食べていけるのか?』ではないかと思えます。有機農業を事業として成功させている人も多くいれば、うまくいかずに辞めていく方もたくさんいます。これは有機農業自体に問題があるのではなく、結局は本人次第ということではないでしょうか。

農業で生計を立てて行くのに大事な事は『計画立てる』ことと『記録をとる』ことだと思います。自分がいくら稼ぎたいのか具体的な金額を決め、そこから5年先ぐらいまでの経営計画を作ります。最初は計画を立てるのは難しいかも知れませんがとにかく理想でもいいので作って下さい。それをまず土台とします。

そして日々の事を自分なりに記録するようにして下さい。栽培に關することはもちろん、売上や経費、労働時間や販売に關することなど自分が経営を早く成り立たす為に必要なと思われることをして下さい。

記録をする事で過去を振り返り、改善を検討しやすくなります。目標だった売上に対し何が足りないのか、どうすれば近づけるのか栽培や販売を常に見直ししましょう。それをより密に繰り返しければ最初の計画をより精度の高いものにしていけると思えます。

他産業では当たり前のような作業が農業の世界では行われず、カシや不確かな記憶、雰囲気頼りに頼っているだけで『食っていけない』と言っている人が大勢います。生業として農業を、ましてや有機農業で目指すのであれば是非とも生産者という目線だけでなく経営者としての目線でも営農して欲しいと思います。

(Natural farm ATABO 小幡和弘)